

平成30年度 星宮小学校学校評価・学校関係者評価のまとめ

平成31年2月20日、学校評議員の皆様により、学校自己評価結果を踏まえて本校の教育活動を評価をしていただきましたのでその結果をお知らせいたします。

学校教育目標	質問事項	学校関係者による評価
1 勉強や仕事を進んでする子	<p>①学習指導の充実と基礎的基本的な学力の定着〔全国・県学習状況調査の活用、「ラグビー・オリパラプロジェクトの推進」、くまびスクール、個別指導カードの活用、関連を意識した総合的な学習の時間の実践〕</p> <p>②誰もが「分かる」「できる」授業づくり〔主体的・対話的で深い学びやインクルーシブ教育の視点を取り入れた授業の実施(学期に一人一授業)〕</p> <p>③家庭と連携した「星宮小スタンダード」教育の展開〔学習ルール、学習規律(ゲーパタ・ピン)の徹底、読書を低学年100冊、中学年2000ページ、高学年4000ページ以上、家庭学習(15分×学年+10分)の習慣化90%達成〕</p>	<p>評価3.8・・・良好</p> <p>少人数の特徴をいかして、個に応じた細やかな指導ができています。</p> <p>子供たちが生き生きと学んでいる姿が素晴らしい。</p> <p>子供たちが「考える」授業を実施していることが素晴らしい。</p>
2 仲よく力を合わせる子	<p>①豊かな心や奉仕の心の育成〔「私たちの道徳」の活用(随時)、地域と連携した体験活動(年10回以上)〕</p> <p>②生徒指導の充実〔あいさつ運動「あいさつ名人」(90%以上)〕</p> <p>③人権教育の充実〔いじめをなくす行動宣言の実施(全員)と実態調査(毎月)、ソーシャルスキルトレーニング(各学年3回以上)〕</p>	<p>評価3.8・・・良好</p> <p>あいさつはよくできている。校内でのあいさつも外部の人たちに気兼ねなくできることがよい。</p> <p>少人数で良いこともたくさんあるが、中学入学時を考え、より多くの児童と交流し、他人との対応力を高める取組が何かあるとよい。</p>
3 じょうぶでたくましい子	<p>①体力向上の推進〔業前活動、おはようマラソンの実施(毎日)、夕授業導入時の単元に適した慣れの運動の実施、ラグビー大会への参加、新体力テストの各項目でA+Bが90%以上〕</p> <p>②健康教育の充実〔学校保健員会の実施(年間2回)、HQCシートの活用(年間3回)、アレルギー児童への「給食配膳マニュアル」の徹底〕</p> <p>③安全教育の徹底〔様々な場面を想定した防災訓練(年15回)、登校指導(毎月)・安全点検(教師・保護者で毎月)〕</p>	<p>評価4.0・・・良好</p> <p>新体力テストの結果が優秀なのは、日頃からの「おはようマラソン」「業前運動」、「体育授業時の導入における慣れの運動」等の取り組みの成果だと思う。</p> <p>毎日の登下校指導と低学年下校時の教師同伴下校は素晴らしい。おかげで事故0が続いている。</p>
『熊谷の子はこれができます！』 「4つの実践」 「3減運動」 及びあいさつ運動の推進	<p>①4つの実践 ・朝ごはんをしっかり食べる ・呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする ・「ありがとう」「ごめんなさい」と言う ・友だちをたくさんつくる</p> <p>②3減運動 ・テレビの時間を減らす ・ゲームの時間を減らす ・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす</p> <p>③あいさつをしっかりする。</p>	<p>評価3.5・・・ほぼ良好</p> <p>家庭の協力なくして、十分な成果は得られない。「朝ごはんをしっかり食べる」の結果は素晴らしい。今後も家庭と連携して取り組んでほしい。</p>